

第3学年〇組 保健体育科（体育分野）学習指導案

指導者 高崎 護

1 単元名 球技（サッカー）

2 単元の目標

- (1) サッカーについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。また、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようにする。
- (2) サッカーに主体的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にしようとする事、グループでの役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする事、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。
- (3) 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。

3 指導にあたって（第3学年*組 男子*人）

(1) 一般的特性

サッカーは、2チームがフィールド内を自由に動き回り、攻守入り乱れて得点を競い合い体が接触するスポーツである。攻撃面ではドリブルやパスをつなぐことでゴールを目指し、守備面ではタックルやパスカットなどを駆使しながら相手の攻撃を止めるところに楽しさや喜びを味わうことができる。また、フェアプレーの精神を大切に、相手を尊重する態度や仲間と協力する姿勢を学ぶことができる。

(2) 生徒から見た特性

サッカーは、日本初のプロサッカーリーグである J リーグが1993年に産声をあげると同時に生徒にとっても身近なスポーツとなっている。ワールドカップやクラブ世界選手権など、日本チームが活躍する場面を見ることでサッカーに親しむ生徒も少なくない。

技能面では相手をフェイントでかわしたり、味方によいパスを出したり、自分で得点を取ることに大きな喜びを感じる運動である。また、守備面でも相手のパスコースを読んでパスカットしたり、粘り強くプレーしたりして自分の思うように相手の攻撃を阻止することに楽しさや充実感を感じることができる。

(3) 生徒の実態

全体的に素直で活発に活動する生徒が多く、体を動かすことに積極的である。特に球技に関しては運動技能にかかわらず、ほとんどの生徒が意欲的に活動している。また、仲間への励ましやアドバイスなどを積極的に行い、常に協力して取り組める雰囲気がある。しかし、運動の苦手な一部の生徒は意欲的に参加できない傾向にある。また、運動部に加入している生徒と加入していない生徒の基礎体力の差が二極化してきている。

(4) 教師の授業への意図

習熟度別学習の形をとるので、生徒一人一人の運動技能レベルだけでなく、主体的に取り組んでいるかなどを見極めたうえでグループ分けする必要がある。また、サッカーの基本技術であるボールを止める・蹴る技術の習得及び定着について、ねらいを明確にしてアドバイスする。練習及びゲームについては、グループの班長が中心となって取り組むので、授業時間前に教師と班長とで打ち合わせを行い、グループ間に温度差が生じないように注意を払う。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<p>・サッカーの特性に関心を持ち，楽しさや喜びを味わえるよう積極的に取り組もうとしている。また，チームでの自分の役割を自覚して，互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに，勝敗に関して公正な態度をとろうとしている。</p>	<p>・自分の技能の段階を把握し，その能力に応じた課題を設定している。また，チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習の仕方を見直したり，新しい課題を見出そうとしている。</p>	<p>・自分の能力に応じて，サッカーの特性に応じた技能を身に付けることができる。また，身に付けた個人的技能や集団的スキルを高めたり，新たに身に付けた技能で攻防を展開してゲームをしたりすることができる。</p>	<p>・サッカーの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方，ルール，審判法および競技会の企画や運営の仕方を理解している。</p>

(2) 学習活動に即した評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<p>①自分の技能の段階を主体的に理解しようとしたり課題を見つけようとしたりしている。</p> <p>②練習やゲームでチームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励まし合ったりしようとしている。</p> <p>③練習やゲームでルールを守り，勝敗や結果を受け入れ公正な態度をとろうとしている。</p> <p>④自分の能力に応じたプレーを選択し，サッカーの持つ楽しさや喜びを味わおうとしている。</p>	<p>①チームや自分の能力に応じた課題を適切に見つけ出している。</p> <p>②チームや自分の課題の達成状況をとらえ，練習の仕方を見直したり，新しい課題を見出したりしている。</p> <p>③試合の結果や内容を受け入れ，自分や仲間の努力とその過程を振り返っている。</p>	<p>①自分の能力に応じて，基本的技術であるボールを止める・蹴る技術を身に付けている。</p> <p>②周囲の状況に応じて，動きながら基本的技術を発揮することができる。</p> <p>③身に付けた個人的技能や集団的スキルを高めたり，新たに身に付けた技能で攻防を展開してゲームをしたりすることができる。</p>	<p>①サッカーの特性に応じた技術や判断の構造について，言ったり書き出したりできる。</p> <p>②技能を高めるための合理的な練習の仕方や練習計画の立て方について，具体例を挙げられる。</p> <p>③用具の準備，準備運動，練習の仕方，ポジション別の役割を理解している。</p> <p>④試合のルールについて理解している。</p>

5 指導と評価の計画（15時間扱い）

時	主な学習内容・活動	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
1	○オリエンテーション ・事前アンケート調査	①	①		①
2	○試しのゲーム				
3	・技能段階の把握				
4	○習熟度別学習 ・習熟度別班ごとに練習，ゲーム ・ボールを止める，蹴る技術の向上・定着	②		①	②
5	・ボール回し				
6	○習熟度別ゲーム ・同レベル同士でのゲーム	③	②		
7	○習熟度別学習 ・習熟度別班ごとに練習，ゲーム ・ボールを止める，蹴る技術の向上・定着		①	①	
8	・ボール回し				
9	○習熟度別ゲーム ・同レベル同士でのゲーム	③		②	
10	○習熟度別学習 ・習熟度別班ごとに練習，ゲーム ・ボールを止める，蹴る技術の向上・定着			①	③
11	・ボール回し				
12	○習熟度別ゲーム	④		③	④
13	・同レベル同士でのゲーム				
14					
15	○まとめ ・事後アンケート調査		③		①

6 本時の学習

(1) 本時の目標

○練習やゲームでチームにおける自分の役割を果たし，協力して教え合ったり，励ましあったりできるようにする。 (思考・判断)

○ボールをしっかり止め，狙ったところに蹴ることができるようにする。 (運動の技能)

(2) 準備

ハンドボールゴール，サッカーボール，ビブス，マーカー，コーン，コーンバー

(3) 単元の学習展開（15時間中3時間目）

	学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 10分	1 集合, 挨拶 2 出欠確認・健康観察 3 準備運動・服装の確認 4 グループ分け	●本時の学習内容と授業の流れを説明する。	
展開 30分	5 チーム練習 課題練習 ①ボールを止める・蹴る技能向上 ・基礎練習（手投げから） ・コールドリブル ・リフティング ・対面パス ・四角形パス など ②ボール回し ・4対1 ・4対2 ・5対1 ・5対2 など 6 ゲーム ・同じ習熟度同士のチームで対戦 ・3ゲーム行う	●課題解決のための練習になるよう助言する。 ●運動技能レベルに合った練習になるよう助言する。 ●必要に応じて設定を変えるよう進言する。 ●ゲーム前やゲーム間に、ミーティングを設けて課題を確認させる。 ●練習で習得した技能を發揮できるよう働きかける。	<思考・判断②> ○練習やゲームでチームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしている。 （観察） <運動の技能①> ○自分の能力に応じて、基本的技術であるボールを止める・蹴る技術を身に付けている。 （観察）
まとめ 10分	7 片付け 8 本時のまとめと次時の確認 9 挨拶	●本時の振り返りと次時への課題を班長中心に考えさせる。	